

公表: 令和3年3月30日

事業所名 エント上福岡事業所

保護者等数(児童数) 41名 回収数 30名 割合 73%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	10%	0%	0%	・工作したりしながら勉強ができることとよい	訓練内容、場所を固定化することなく小部屋とプレイルームを活動内容に応じて使い分けながら訓練プログラムを立てていきたいと思ひます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	83%	17%	0%	0%		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	20%	0%	0%	・生活と言うより療育に特化しているの で何とも言えない	共同利用部分などは視覚的にも分かりやすい掲示の工夫をしていきたいと思ひます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	97%	3%	0%	0%	・オムツを交換できるスペースがほしい ・もう少し外部の音が入ってきにくい部屋の方が集中できると思う	・オムツ台の用意はスペース上難しいのですが、おむつ替えできるようマットをご用意しておりますので必要な際は職員にお声がけ頂けたらと思ひます。・同時間に複数利用者様がおられる場合は使用する部屋を離すなど極力外部の音が影響しないように工夫していきます。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	90%	10%	0%	0%	・子どもの年齢が低いので計画取り組みに波があり課題を客観的にし共通のものにするのは難しく感じる	検査等の評価ツールを使って客観分析を行います。計画を作成した際には必ず読み合わせをして共通認識を図っていきます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	70%	20%	7%	無回答3%		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	84%	16%	0%	0%		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	20%	36%	24%	・サービスとしてそもそもない	・個別支援を主たる活動としている関係で事業所として交流の機会を設けてはいません。
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93%	7%	0%	0%		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	97%	0%	0%	無回答3%		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	57%	20%	10%	13%	・アドバイス程度の話を受けている	・ペアトレとしてのプログラムは事業所にはありません。個別で担当職員が時々合わせた助言・指導を行っております。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	97%	3%	0%	0%	・その日の取り組みについてのお話は頂いているが日頃の事と併せて課題を浮彫にしたりはしていない	・1回一時間の個別支援のため難聴・言語に特化してお話をさせて頂いております。生活場面でのように支援が活かされているかお話を伺っていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%	0%	0%		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	30%	17%	17%	36%	・一度開催して頂いた	・保護者向けの勉強会や講演会を開催しております。その際に交流して頂ければ幸いです。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	83%	17.00%	0%	0.00%	・子どもの年齢が低いので子どもから相談する事はまだ難しく親も相談と言うよりはその日の取り組みについてお話を頂いている	・個別支援の特色を活かしてご相談があった場合には職員で会議をしながら対応できるようにしております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	87%	10%	0%	無回答3%	・季節ごとの行事などの情報は子どもにも分かりやすく掲示されている	・難聴のお子さんが多い為、視覚的にわかりやすい掲示物を心掛けています。聞こえへの支援の為に個室での訓練を主としております。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	50%	23%	7%	17%	無回答3 ・1カ月に1回は情報があるとありがたく感じている	・自己評価は1年に1回、講演会などイベントは年に2回程度行っています。LINEと掲示でお知らせしております。HPの活用を心掛けて参ります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	83%	14%	0%	0%	無回答3	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	53%	23%	3%	18%	無回答3	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37%	13%	17%	30%	無回答3 ・すぐに避難可能な間取りです	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	80%	14%	0%	3%	無回答3 ・いつも楽しそうです ・通えなくなっている状況ではないが行くのを渋る様子が多々見られる。	・楽しく通ってもらう事を心がけておりますが、苦手と向き合ったり克服する為の支援も行なっております。難聴・言語の支援の特性上頑張ってもらう場面もあります。ご協力とご理解をお願い致します。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	94%	3%	0%	0%	無回答3 ・とても頼りにしているし実際に成果もすごく感じている。ただ本人のモチベーションが続くか心配	・お子さまの状態に合わせて、支援の難しさは都度調整してまいります。できた！わかった！伝わった！だから嬉しい・楽しいもっとコミュニケーションしたいと思って通所してもらえようように心掛けて参ります。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。